

校内研修計画

甲州市立玉宮小学校

1. 学校課題

本校の子どもたちは明るく素直で、個性を發揮しながら元気に学校生活を送っている。本年度は7名の新入児童を迎え、低学年が児童数の半数以上を占める学年構成である。各学年児童は10名に満たず、4年生がいないこともあって、全校児童27名と小規模の小学校である。しかし、児童会を中心とするさまざまな活動を通して、学年の枠をこえての交流が多く、上級生が下級生の面倒をよく見ている。休み時間や放課後にも学年入り交じって、元気に遊ぶ姿が見られる。

一方で、現代社会が抱える諸課題は子どもたちの生活に影響を与えており、遊びや家庭生活の変化から自然体験・社会体験など子どもの学びを支える直接体験の機会が減ってきている。恵まれた自然環境を生かし、学校生活の中でこうした経験を増やす取り組みを進めたいと考える。

2. 研究主題

「確かな学力」を育てる学習活動の工夫

— ICTの効果的な活用を通して —

3. 主題設定の理由

昨年度までは、「少人数学級に応じた算数科の授業づくり」を中心に研究を行い、児童の実態や特性に基づいた算数的な活動を取り入れたり、学び合いの場面を適切に仕組んだりすることで、成果を上げてきた。

本年度は昨年度までの研究の基礎の上に、児童の学習意欲や知識・理解、表現力、学び合い等を促す手立てとしてICTを有効に活用しながら授業研究を進めていく。本校児童は少人数で学ぶため、指導が行き渡りやすい反面、多様な意見を出し合い、友達同士の関わり合いによって学び合うことが弱い傾向にある。そこで、学習場面に思考したり表現したりする場面をいかに仕組み、考えをどのようにして引き出していか、そのためにはどのような学習形態がよいのか等をICTの活用を通して見直し、「自分の考えを持ち、工夫して表現できる児童」、「友達と学び合い高め合うことができる児童」を育成していきたい。また、ICT環境の中で近隣校との交流を深め、小規模校のもつ課題の克服を進めたい。

4. 研究の具体的内容と方法

○授業づくり

(1) 児童の実態の把握

○NRTや学力診断テストの結果、「h-QU」などを活用して各学年の児童の実態把握をし、学級集団づくり、学習指導、研究に生かすために課題や手だてについて検討する。

(2) 理論研究

○全体研究で、研究の基本方針の検討決定を行う。

○講師を招いての理論研究を行う。

(3) 研究授業

○ICTを活用した授業研究

・各自実践事例を積み重ね授業づくりの工夫をし、その中で一人一実践を基本とし、授業を通して実践的に学び合う。研究授業を行い、授業案の検討・思考の見取り・評価について共に学び合い、指導法を研究する。

〈ICTの効果的な活用〉

- ・情報を収集したり，選択したりするための活用
- ・自分の考えをまとめたり，調べたことを表や図にまとめたりするための活用
- ・わかりやすく発表したり，表現したりするための活用
- ・3校の交流における活用

○学習基盤づくり

(4) 学習規律・習慣の確立

- 「h-QU」の結果については，全校を一集団ととらえ，学校づくりに生かす。
- 「玉宮小学習の約束」や「表現力アップ」など，学習基盤の検討・取り組みを行う。
- 家庭学習について全校で方向を確認し，取り組みを進めていく。
- 朝学習の時間の有効な活用について研究する。

年間校内研修計画

内 容	教科領域等	研究主任 海野 朱美			
		担当者	学年	授業の時期	TC要請
研究の方向性の確認 学校課題・研究主題・主題設定の理由・研究仮説の検討		研究主任			
研究の方向性の決定・予定の確認 継続的な取り組み(つきたい力・家庭学習)について		研究主任			
「確かな学力」育成プロジェクトの取り組みについて		研究主任			
K13法について		研究副主任			
h-QUの結果をもとに今後の取り組みについて検討		研究副主任	全		
学習会 「ICTを活用した授業づくり」について		研究主任			○
学習規律・家庭学習の取り組みについて 「県学力把握調査」「全国学力・学習状況調査」の分析・改善策について		研究主任			
授業実践①	ICTの活用				
教育課程環流報告		各担当			
実践に向けて・授業案検討		授業者			
授業実践②	ICTの活用				
授業案検討	ICTの活用	授業者			
授業案検討	ICTの活用	授業者			
授業実践③	ICTの活用				
研究授業	ICTの活用	授業者	6年	10月	○
h-QUの結果をふまえて今後の取り組みについて検討		研究副主任	全		
授業実践④	ICTの活用				
授業実践⑤	ICTの活用				
実態調査結果考察・各学年の課題の見直し 研究集録について 研究の成果と課題		研究主任			
研究のまとめ		研究主任			
研究集録作成作業		研究主任			

- ※授業実践事例・研究等については，上記実施時期が適切でない場合，教務と相談し随時都合の良い時期を選んで，一人一実践を行うことを原則とする。
- ※h-QUの分析については，必要な時期に必要なに応じて時間を設定する。
- ※「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の取り組みを3校の話し合いの内容により，随時進めていく。